「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		災害見舞金支給事業費 [災害見舞金支給事業]						
予算科目	款 3	民生費	項 5	災害救助費	目 1	災害救助費	事業番号 1	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	福祉推進		課	庶務	係	課長名	山田 茂人	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	2 - 5		
【施策名】 社会保障の充実					総合計画書(ページ)	63		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 被災者またはその遺族			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 火災等災害により被災した世帯数				
	→							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 被災者の経済的負担を軽減する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 見舞金を支給した世帯数				
→								
③ そのために何をしましたか。 市内で発生した火災等災害により住居に被害を受けた者に対して、災害見舞金を支給する。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 見舞金を支給した世帯数					
→								
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標
	対象指標	①の数値	世帯	4	9	9		
	成果指標	②の数値	%	50.0	100.0	100.0		
	目 標	②の目標値						
目標設定の考え方 目標を設定する事業でないと考えられることから設定はしない。								
活動指標	③の数値	世帯	2	9	9			
3 経費	事業費(実績)		円	20,000	150,000	130,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	20,000	150,000	130,000		
		特定財源(国・都・他)	円	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1		
		所要人数(再任用)	人					
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000		
職員人件費(再任用)	円							
事業費+人件費		円	844,400	981,000	968,000			
4 環境変化等	(1) 開始年度	52 年度						
	(2) 環境の変化	住宅については、耐火構造のものが増えており、住宅用火災警報器の設置が義務化されるなど、従前に比べ火災の延焼危険度は低下しているといえる。また、消火技術の向上が図られているが、住宅の高層化等、新たな課題も出てきている。						

事業名称	災害見舞金支給事業費 [災害見舞金支給事業]			
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係 課長名 山田 茂人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	火災後の匂いに対する見舞金制度もあったほうがいいのかとの意見あり	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし	
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 特になし	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 特になし	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 特になし	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 社会保障の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	